

福山副大臣ワシントンDC訪問出張報告

平成22年5月11日
外務省

1 アフガニスタン・パキスタン

ホルブルック・米国アフガニスタン・パキスタン特別代表

カルザイ大統領が間もなく訪米(5月10日～14日)し、その後、和平ジルガが開催(5月29、30日)されること、さらにカルザイ大統領の訪日が6月に検討されていること、アフガニスタンの問題についてこの2カ月ほどの動きが非常に重要であるという認識で一致。

ホルブルック代表は、日本のアフガニスタンへの貢献について何度も謝意を表明。今後のアフガニスタンに対する日米の関係について強化していくことで認識が一致。先日のニューヨークでの爆弾テロ未遂事件でパキスタン系米国人が逮捕されたということについて意見交換し、今後のこの事件がどのような広がりが見られるのか、どう対応していくべきなのかについても、連携を密にしていきたいことで一致した。

2 気候変動

パーシング気候変動次席特使

- (1)コペンハーゲン(COP15)後の国際社会における動き、メキシコ(COP16)で達成すべき目標、COP16に向けてモメンタムを高めるための日米協力のあり方、長期資金に関する議論や米国の法案の行方につき、時間を20分以上超過して1時間近く建設的な議論を行った。
- (2)気候変動については、他にもシンクタンク等とも意見交換を行い、アメリカの最新の状況を確認した。

3 その他

- (1)ジャック・リード上院議員(民・ロードアイランド州、上院銀行委に所属)
金融規制法案や気候変動に関する法案などについても意見交換を行った。
- (2)ハムレ戦略国際問題研究所(CSIS)所長
全体の日米関係、今の国際情勢の変化、パキスタンの問題等も含め、議論した。

(了)